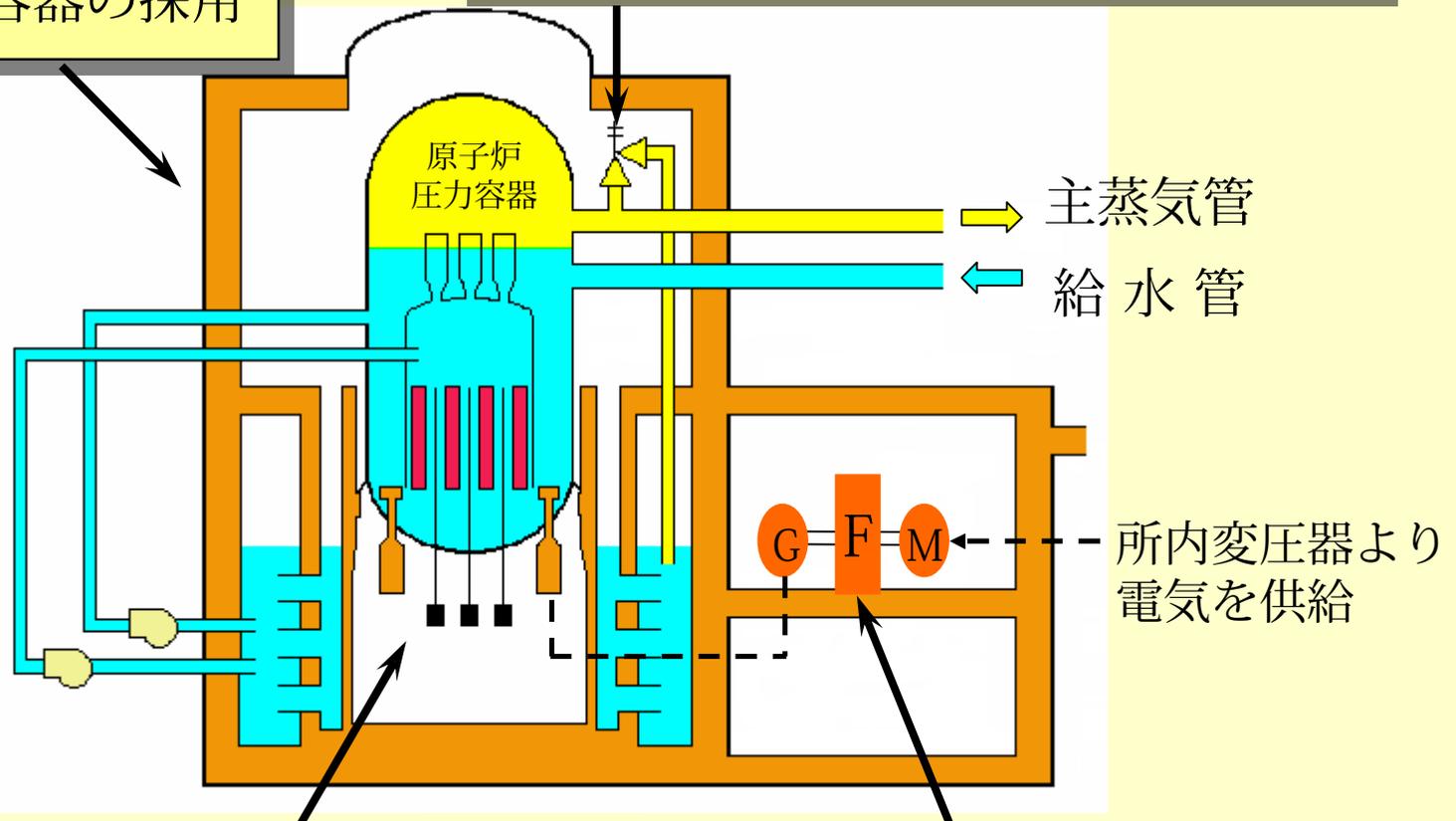


島根3号機で導入した新しい技術

①鉄筋コンクリート製
原子炉格納容器の採用

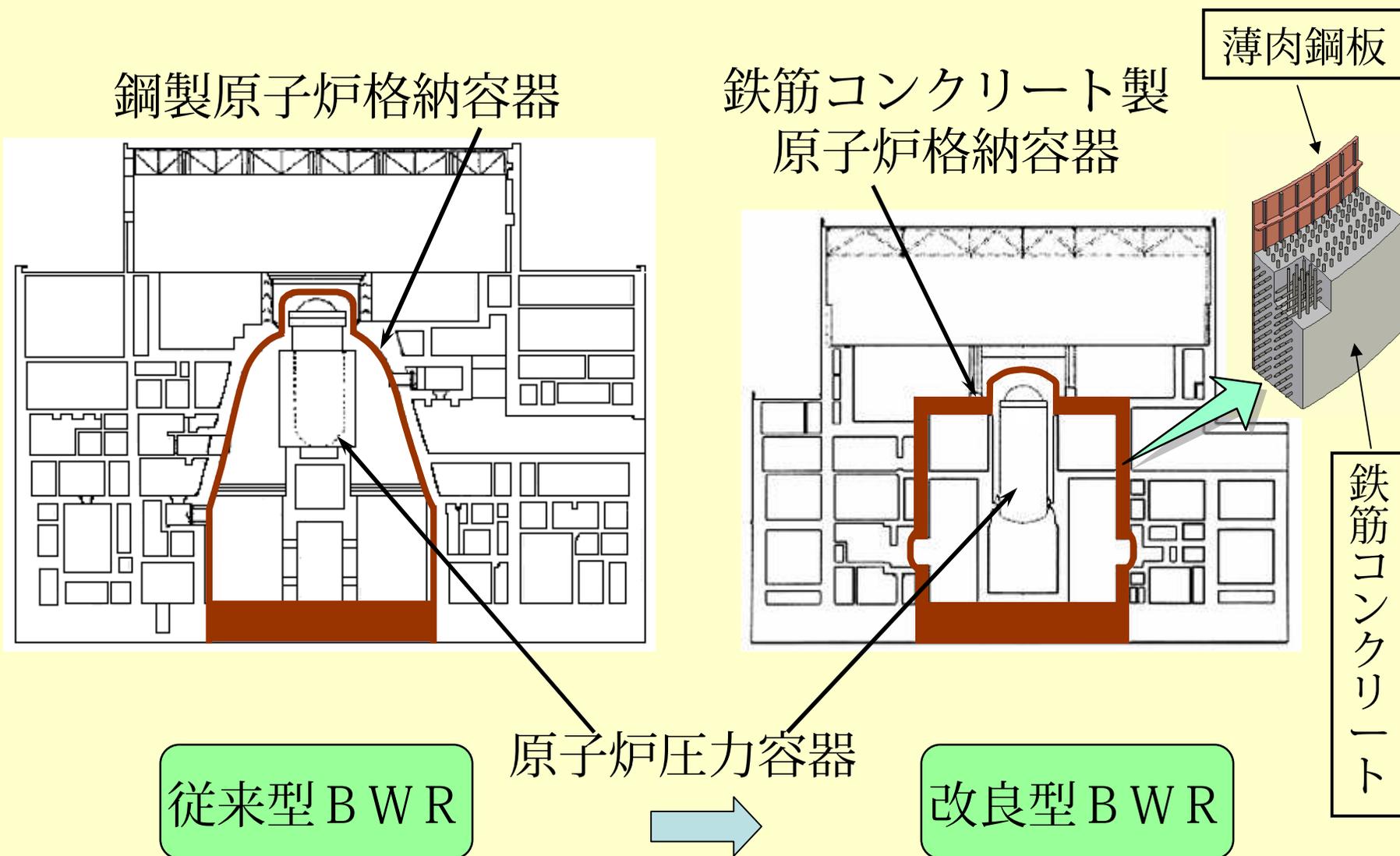
②大容量主蒸気逃し安全弁の採用



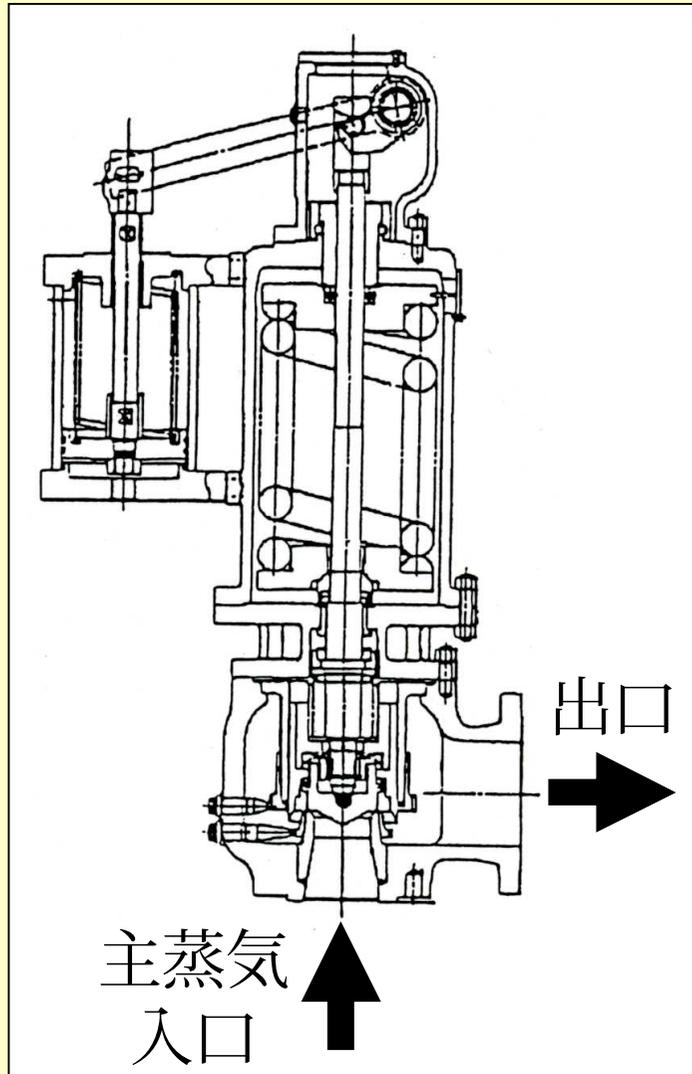
③シールレス型の改良型
制御棒駆動機構の採用

④原子炉内蔵型再循環ポンプ
電源としてM F Gの採用

①鉄筋コンクリート製原子炉格納容器の採用

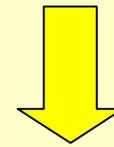


②大容量主蒸気逃し安全弁の採用



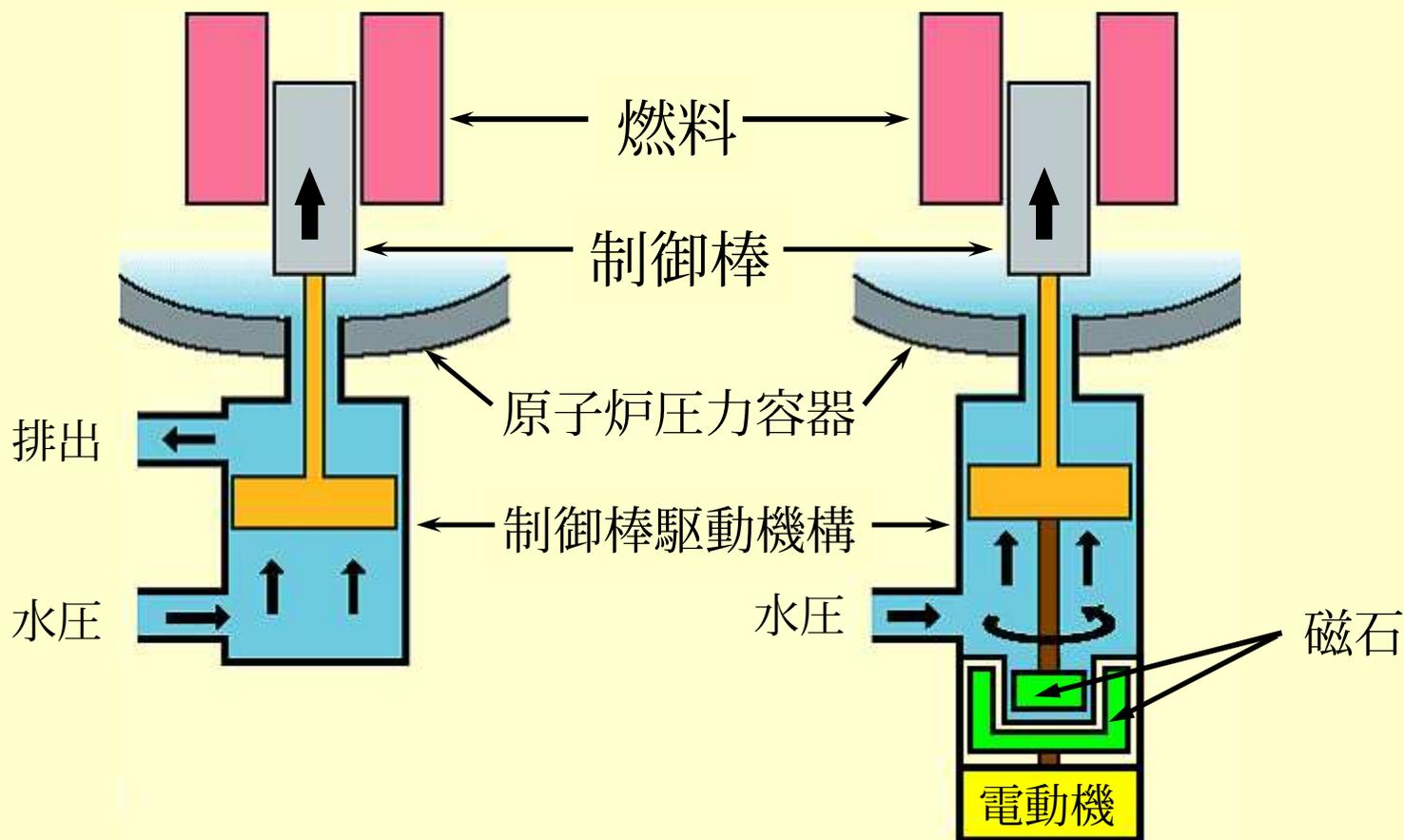
(主蒸気逃がし安全弁：異常時に原子炉の圧力を逃がす機能を持つ)

- 吹き出し容量を増加させた弁を採用



- 弁個数が18個から16個に減る
 - ・ 作業性の向上
 - ・ 弁の点検作業量の低減

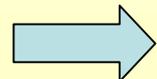
③シールレス型の改良型制御棒駆動機構の採用



通常時：水圧駆動

スクラム時：水圧駆動

従来型BWR

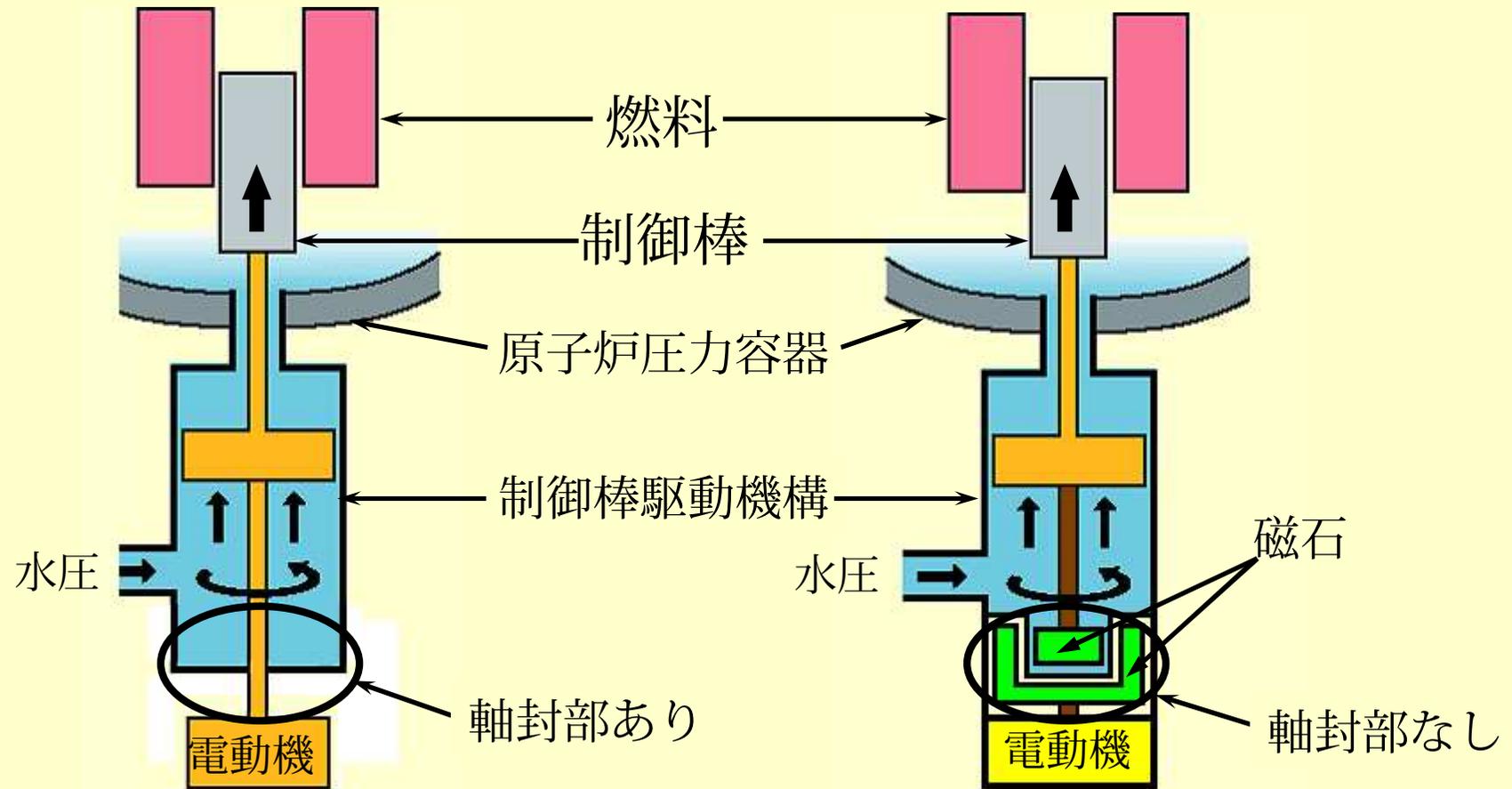


通常時：電動駆動

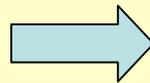
スクラム時：水圧駆動

改良型BWR

③ シールレス型の改良型制御棒駆動機構の採用



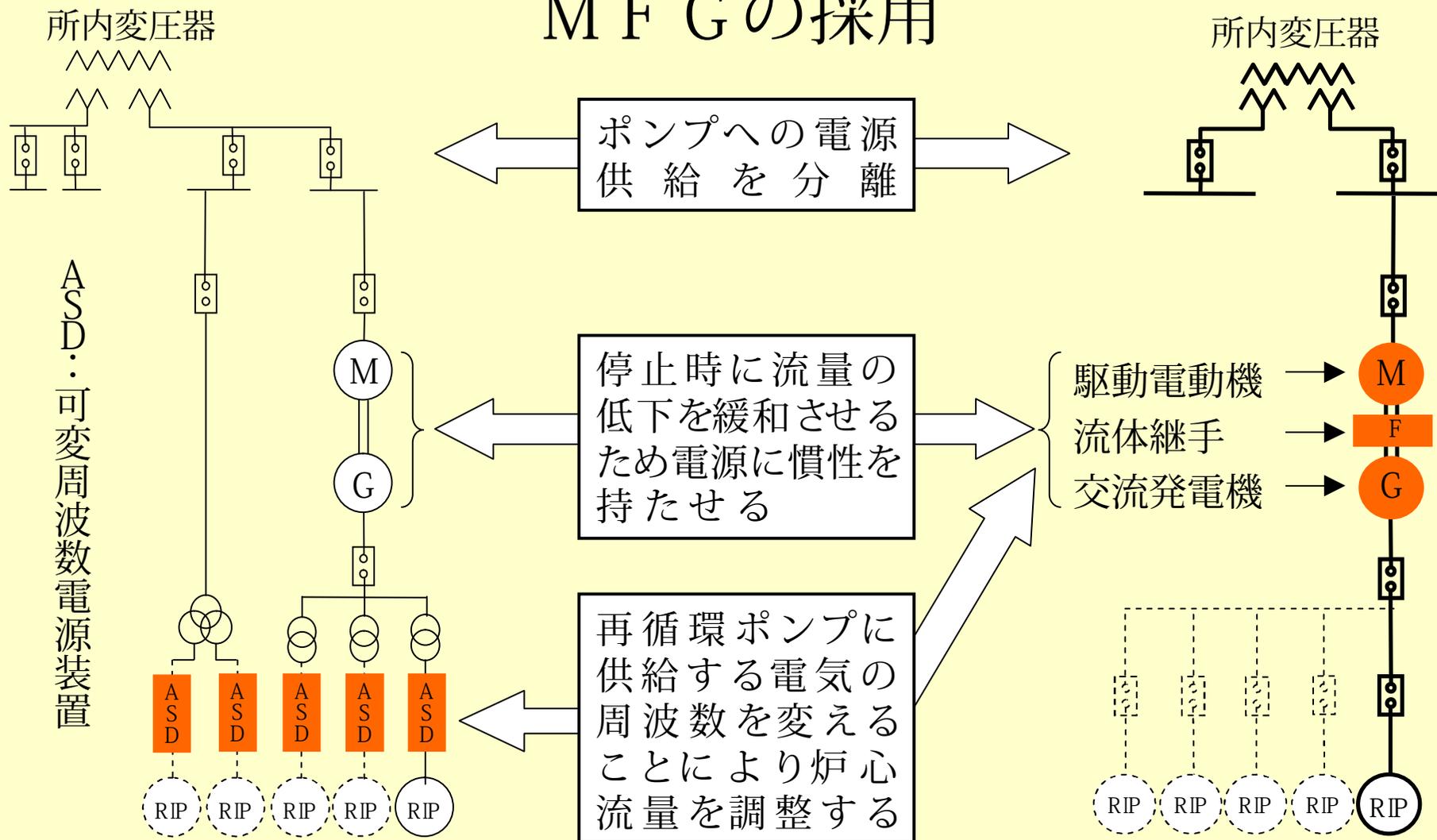
軸 封 型



シールレス型

(先行の改良型 BWR で採用)

④原子炉内蔵型再循環ポンプ電源として M F Gの採用



先行の改良型BWR

RIP: 原子炉内蔵型再循環ポンプ

島根3号機